



世界最高を、
お届けしたい。

2017年6月8日(木)
NEWS RELEASE

ユニバーサル・スタジオ・ジャパン

『SUPER NINTENDO WORLD』

2017年6月8日(木)、建設着工式実施

—あの「マリオカート」が、世界最新鋭※1
テーマパークの常識を超える興奮のライド・アトラクションとして登場—

ユニバーサル・スタジオ・ジャパンは、本日6月8日(木) 午前10時10分頃、任天堂のキャラクターとその世界観をテーマにした、世界初となる※2 壮大なエリア『SUPER NINTENDO WORLD™』の建設着工式を開催しました。

この『SUPER NINTENDO WORLD』は、「Nintendo」という日本が誇る素晴らしいエンターテインメント・ブランドの魅力を、日本国内のみならず、世界へ発信していく、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの集客拡大の起爆剤となるエリアとなります。600億円超※3の巨大プロジェクトとして、2020年の東京五輪前のオープンを目指して始動いたしました。

さらに、この『SUPER NINTENDO WORLD』内には、世界のファンが強く待ち望むあの「マリオカート」もライド・アトラクションとして登場いたします。数々のエンターテインメントを世に送り出してきたユニバーサル・スタジオのクリエイティビティを、世界最新鋭の技術を駆使して、ほかに類を見ない世界初のアトラクションとして、ゲストの皆様の世界最高の体験をお届けいたします。



(写真左より、マーク・ウッドベリー、J.L.ボニエ、宮本茂氏)

『SUPER NINTENDO WORLD』は、任天堂のゲームの楽しさを体感できる、広大で非常にテーマ性にあふれるエリアとなります。ゲストの皆様は、大好きな任天堂のゲームの中に入り込んだかのように感じる、興奮と感動あふれる体験ができることでしょう。このプロジェクトには、任天堂の伝説的なキャラクターと世界観を生み出した創造者たちと、ユニバーサル大人気テーマパークを支えるクリエイティブチームが一丸となって取り組んでいます。『Nintendo』をテーマとしたエリアは、ユニバーサル・オーランド・リゾート、ユニバーサル・スタジオ・ハリウッドにも誕生いたします。

■建設着工式 Groundbreaking Ceremony について

『SUPER NINTENDO WORLD』の建設予定地に特別に設えられたのは、任天堂の世界的な人気を誇るゲーム「スーパーマリオブラザーズ」シリーズの世界観が再現された巨大ステージ。そのステージにマリオが登場すると、クリボーやノコノコに遭遇したり、コインを獲得したりするなど、ゲームさながらの躍動感あふれるアクションが繰り広げられました。次にマリオが遭遇したのは、本プロジェクトを中心となって推進していく J.L. ボニエ(株式会社ユー・エス・ジェイ代表取締役 CEO)、宮本茂氏(任天堂株式会社 代表取締役 クリエイティブフェロー)、マーク・ウッドベリー(ユニバーサル・パークス&リゾーツ バイスチェアマン 兼 ユニバーサル・クリエイティブ プレジデント)。マリオとともに、誰もが憧れた「ハテナブロック」を下から突き上げる、マリオの中でも最も印象的なアクションに挑戦。突き上げられたハテナブロックからは「スーパーキノコ」や「1UP キノコ」、「スター」、「コイン」など、マリオのアイテムを模った大量のコンフェティ(紙ふぶき)や、色とりどりのパイロ(仕掛け花火)が空高く舞い上がり、これから始まる一大プロジェクトへの期待を予感させる、華々しい幕開けを飾りました。

■登壇者コメント

「私自身も、任天堂のクリエイティブチームも、このプロジェクトに全面協力体制で取り組んでいます。ゲームの中のマリオの世界をリアルな造形で作り上げていくユニバーサル・クリエイティブチームはとても頼もしく、皆さんのマリオへの愛と知識のおかげで、言葉の壁も越えた開発が続いています。任天堂のおなじみキャラクターが目の前に現れ、直接触れ合うことで、ゲームの中に自分が入り込んだかのような体験をしていただけるアイデアを、たくさん盛り込んでいます。私自身も、実際に体験できる日がとても待ち遠しいです。」(任天堂株式会社 代表取締役 クリエイティブフェロー宮本茂氏)

「グローバルに展開するエンターテインメント企業である私たちは、非常に画期的かつ革新的なパートナーシップを構築しています。私たちのビジョンは、任天堂のキャラクターやストーリー、その世界観を、世界でまだ誰も見たことも体験したこともないものに再現することです。この『SUPER NINTENDO WORLD』のメインになるのは、超画期的ライド・アトラクションの『マリオカート』です。私たちはこれを、これまでのテーマパークの常識をくつがえすぐらい画期的なアトラクションに造り上げます。」(ユニバーサル・パークス&リゾーツ バイスチェアマン 兼 ユニバーサル・クリエイティブ プレジデントマーク・ウッドベリー)

「投資額 600 億円超となる『SUPER NINTENDO WORLD』は、成功をおさめている『ユニバーサル・ワンダーランド』、『ウィザーディング・ワールド・オブ・ハリー・ポッター』、『ミニオン・パーク』等続くテーマエリアとなります。2層からなるユニークな構造で、アトラクション、レストラン、ショップと複合体験のできるエリアとして、国内外からさらに多くのゲストをお迎えしたい」(株式会社ユー・エス・ジェイ 代表取締役 CEO J.L. ボニエ)

■『SUPER NINTENDO WORLD』について

『SUPER NINTENDO WORLD』は、任天堂の人気キャラクターやゲームの世界観を再現した、他に類を見ない最新鋭技術を活用した世界初※1 ライド・アトラクションの「マリオカート」や、ショップ、レストランを有する二層構造の巨大複合エリアとなり、その投資額はユニバーサル・スタジオ・ジャパン 1 か所のみで 600 億円を超える規模となる予定です。

関西大学宮本勝浩名誉教授の試算によると、『SUPER NINTENDO WORLD』オープン後 10 年間のユニバーサル・スタジオ・ジャパンが創出する経済効果は近畿圏において約 6.2 兆円、全国では約 11.7 兆円、その雇用効果は約 108 万人に及びます※4。

※1 2016 年 11 月世界のテーマパークにおける自社調べ。

※2 任天堂ブランドのキャラクターおよびその世界観をテーマにした施設における自社調べ。

※3 ゲストの皆様の体験価値を最高のものにするため、投資額を修正しました。

※4 関西大学発表による (2016 年 12 月 12 日)。

■ユニバーサル・スタジオ・ジャパンについて

ユニバーサル・スタジオ・ジャパンは、コムキャスト・NBC ユニバーサルが 100%保有する有数のテーマパークです。ブランド・メッセージ「世界最高を、お届けしたい。」のもと事業を展開——ハリウッドの人気映画だけではなく、さまざまな世界的人気エンターテインメント・ブランドをテーマとする本格的なアトラクションやショー、ゲストが思いきり楽しめるシーズナル・イベントなど、世界最高クオリティのエンターテインメントを提供しています。

2001年の開業以来、常に革新を続け、さらに近年その進化を加速させています。特に「ウィザーディング・ワールド・オブ・ハリー・ポッター」(2014年オープン)が絶大な人気を博しているほか、「ジュラシック・パーク」エリア一帯を滑走する画期的なフライングコースター「ザ・フライング・ダイナソー」(2016年オープン)や、最新エリアの「ミニオン・パーク」(2017年4月オープン)ではミニオンたちが繰り広げる想像を超える“ハチャメチャ”が楽しめる「ミニオン・ハチャメチャ・ライド」が話題を呼ぶなど、次々と世界最高エンターテインメントを打ち出し知名度をさらに上げ、国内のみならず海外からも多くのゲストが訪れるエンターテインメント、レジャー界における一大ランドマークとしての地位を築きあげています。

■ユニバーサル・パークス&リゾーツについて

ユニバーサル・パークス&リゾーツは、コムキャスト・NBC ユニバーサル傘下で、世界中のゲストに最先端で人気のエンターテインメント体験を提供しています。アカデミー賞を3度受賞したスティーブン・スピルバーグ監督の総監修の下、ユニバーサルのテーマパークは、世界で最もスリリングで最先端の技術による映画・テレビを題材にした数々のアトラクション体験を提供しています。

コムキャスト・NBC ユニバーサルは、ユニバーサル・シティウォーク・ハリウッドを含むユニバーサル・スタジオ・ハリウッドを有しています。また、3つのテーマパーク(ユニバーサル・スタジオ・フロリダ、ユニバーサル・アイランド・オブ・アドベンチャーおよびユニバーサル・ボルケーノ・ベイ)から成るリゾートであるユニバーサル・オーランド・リゾート、5つのリゾートホテル、ユニバーサル・シティウォーク・オーランドも所有しています。コムキャスト・NBC ユニバーサルは、大阪にあるユニバーサル・スタジオ・ジャパンも有し、シンガポールのリゾート・ワールド・セントーサにあるユニバーサル・スタジオ・シンガポールとライセンス契約を締結。同社は、北京での建設計画も発表しました。

Nintendo properties are trademarks and copyrights of Nintendo. © 2017 Nintendo.

© & ® Universal Studios. All rights reserved.